

令和元年度 越廼中学校 学校評価

重点目標	単年度目標	具体的取組	No.	評価項目	評価	1学期	2学期	H30年度	成果と課題、対応	
確かな学力の育成	基礎・基本の確実な定着	基礎・基本を習得する ドリルコンテストで合格するようにする	1	職員アンケート① 理解できていないことへの補充	A	100%	100%	100%	○教師がスクールプランを意識し、各自で個人テーマを設定して研究を進めることができた。興味・関心を高め持続させるような課題を工夫したり、主体性を高めるための課題や多様な考え方を表現できる場面を設定したりするとともに、学習内容の定着を自己評価するなどの振り返りを行うことで、個に応じた授業づくりを推進できた。 ○「授業がよくわかる」「意欲的に学習に取り組んでいる」と答える生徒が多い。 ○学習に目標をもっている生徒の割合は高い。今後も、課題や目標を板書する取組を継続し、生徒の意識を高めていくようにしたい。 ○授業で新たな学びを見つけたり、理解を深めたりしていると答えた生徒の割合が増加している。身近な例や体験を意識させ、「更に知りたい、理解したい」と感じさせる授業が功を奏している。 ▲先生は自分に合った学習方法を指導してくれると感じていない生徒の割合が昨年より増加している。個人面談等の中で話を聞き、アドバイスするようにしていきたい。	
			2	生徒アンケート② 授業がよくわかる	A	96%	91%	87%		
			3	生徒アンケート④ 学習に目標をもっている	A	83%	91%	93%		
			4	職員アンケート⑧ 授業の振り返りを行い学習内容の定着など自己評価を行う	A	74%	100%	100%		
			5	生徒アンケート③ わからないところを質問している	A	70%	91%	70%		
			6	ドリルコンテスト 合格率9割	A	75%	91%	68%		
			7	職員アンケート② 一人一人に応じた授業づくりを行っている	A	100%	100%	100%		
			8	生徒アンケート⑧ 先生は自分にあった学習方法を指導してくれる	C	74%	73%	90%		
			9	保護者アンケート② わが子は家庭学習に意欲的に取り組んでいる	D	55%	57%	57%		
			10	生徒アンケート⑦ 授業の振り返りで学びが深まったことを実感できることがある	B	87%	86%	83%		
	11	生徒アンケート⑥ 授業では新たな学びを見つけたり、理解を深めたりしている	A	91%	96%	80%				
	12	生徒アンケート⑨ 先生は授業内容を一生懸命教えてくれる	A	96%	91%	97%				
	13	生徒アンケート① 授業に主体的に取り組んでいる	A	87%	96%	83%				
	14	職員アンケート③ 授業で意欲を高めるために課題を工夫した	A	100%	100%	100%				
	15	職員アンケート⑤ 授業で主体性を育てるために課題を工夫した	A	100%	100%	100%				
	16	生徒アンケート⑤ 授業で他人の意見を取り入れ、考えを広げている	A	91%	91%	80%				
	17	職員アンケート④ 授業で学びを深める場を設定した。	A	100%	100%	100%				
	18	実施率 職員研究授業実施率	A	-	100%	100%				
	19	実施率 授業でICTを活用している	A	-	100%	83%				
	20	教員アンケート⑥ 授業で新聞を活用している	A	86%	93%	100%				
豊かな心・健やかな体の育成	認め・高め合える学級・学校づくり	多様な考えを出し合ったり共有したりして、他者の理解と許容を図る いじめ見逃しゼロに向けた情報を交換する 特別支援学校との学校間交流を通して障害理解を深める 道徳等で感謝について考えさせ、ありがとうと言いつづける風土を育てる	21	職員アンケート⑳ 道徳で心を見つめさせたり、生き方について考えさせたりしている	A	100%	100%	88%	○いじめは許されないことで、自ら行動できると答えた生徒が8割を超えており、「みんなで何かをするのは楽しい」と答えている生徒が100%となっておりよい傾向である。少人数が故に、お互いをよく知っており、相手の意見や考えを改めて知るといふ道徳の授業は難しい。メディアを活用するなど同年代の子供の多様な意見に触れる機会を増やす等して道徳的価値を深めていく工夫が必要である。 ○ポートフォリオは各学年で実施しているが、更に有効に活用するために、ポートフォリオに担任の一言を添えたり、各教科担任からコメントを付けたりしていくようにしていきたい。 ○項目38の「我が子は夢や目標に向かって苦手なことにも挑戦している」と答えた保護者が78%と過去最高である。また、生徒の回答と聞きが小さくなってきたことも合わせ、親子のコミュニケーションがとれていると推察できる。今後も、生徒の感想や頑張った姿などを学級通信等で発信することで、家庭と連携しながら生徒の夢や目標の実現を支えていきたい。 ○新聞や本を読んでいると認識している生徒の割合が増えた。掲示板に読んだ時間を書くようにする委員会企画によって、振り返りと自覚ができるようになってきたと考えられる。今後、生活ノート等に読んだ時間を記入するなど意識づけを継続していきたい。	
			22	生徒アンケート⑱ 道徳で自分の考えを深めることができている	B	78%	86%	90%		
			23	生徒アンケート㉒ いじめを見たら大人に知らせたり、止めたりすることができる	B	83%	82%	77%		
			24	集計結果 いじめの兆候を見逃さず、いじめゼロ	A	-	ゼロ	ゼロ		
			25	実施回数 特別支援学校との交流や共同学習を行う	A	-	3回	-		
			26	生徒アンケート⑬ ありがとうを伝える	A	100%	100%	97%		
			27	職員アンケート⑦ 道徳等で感謝について考えさせる	D	57%	67%	71%		
			28	生徒アンケート⑲ 学校に通うのは楽しい	A	96%	100%	87%		
			29	生徒アンケート⑳ みんなで何かをするのは楽しい	A	100%	100%	83%		
			30	生徒アンケート㉒ 目標を持って部活動に取り組んだ	A	91%	91%	100%		
	31	職員アンケート⑩ ポートフォリオを作成する	A	100%	100%	-				
	32	保護者アンケート⑫ 一人ひとりを大切にし、温かく指導している	A	95%	91%	100%				
	33	保護者アンケート① 我が子は友人関係が良好である	A	95%	96%	92%				
	34	保護者アンケート① 我が子は学校生活を楽しんでいる	A	95%	96%	92%				
	35	生徒アンケート㉓ 将来の夢や目標がある	B	78%	82%	93%				
	36	職員アンケート⑲ 本校はキャリア教育に力を入れている	A	89%	100%	100%				
	37	職員アンケート⑱ 本校は気になる生徒の支援を十分行っている	A	100%	100%	100%				
	38	保護者アンケート④ 我が子は夢や目標に向かって苦手なことにも挑戦している	C	67%	78%	65%				
	39	生徒アンケート㉔ 先生は自分の悩みに寄り添って話を聞いたりアドバイスをくれたりする	B	91%	86%	-				
	40	集計結果 ネットのトラブル ゼロ	A	-	ゼロ	ゼロ				
41	生徒アンケート㉘ 新聞や本を週2時間以上読む	B	70%	86%	47%					
42	生徒アンケート⑩ 委員会活動に、目標達成に向けて頑張っており取り組んだ	A	91%	96%	97%					
地域と連携し越廼PRを推進	社会に開かれた教育課程を作成し、地域や学校に誇りを持つ生徒の育成	教育活動に関わる方を増やす 協議会委員が学校参観する機会や取り組み等を聞く機会を増やす マラソン大会、遠泳大会、越廼サミットを行う 保護者が学校に来やすい工夫をする 学校公開や保護者会、便りの発信等で、保護者との意思疎通を深める	43	集計 年間の来校関係者数（のべ）	D	-	350名	1218名	○「生徒を伸ばそうとしている」「教育方針や教育内容を適切に伝え、不審者対応や安全面について適切に指導している」と考える保護者の割合が高い。生徒を伸ばそうとする努力や教育方針や教育内容など学校の考え方を伝えることができている。 ○越廼PRの各企画や越廼サミット、海フェスタ、公民館行事への参加、内閣府特命担当大臣表彰等を通して、生徒の越廼への思いは高まっており、そうした生徒の姿を地域の方に見てもらうことができた。また、地域と関わる取組を一覧表にまとめて可視化したことも、地域の方に中学校の取組を理解していただくことに役立った。 ▲地域の方や保護者の来校が減少している。外部の方を呼ぶ行事が減ったこと、行事がマンネリ化しており生徒の中に地域の方にどうしてもきてほしいという強い思いがないこと等が考えられる。今後の検討課題としたい。	
			44	家庭地域学校協議会アンケート⑧ 家庭地域学校協議会で学校の取組や課題をわかりやすく説明している	A	-	100%	100%		
			45	実施回数 マラソン大会、遠泳大会、越廼サミット開催	A	-	3回	3回		
			46	集計 年間の来校保護者数（保護者会等を除く・のべ）	D	-	160名	447名		
			47	保護者アンケート⑪ 学校に来やすい	A	95%	100%	92%		
			48	発行回数 学校便りの発行	A	-	13回	12回		
			49	保護者アンケート⑨ 学校は生徒を伸ばそうとしている	A	100%	96%	100%		
			50	保護者アンケート⑭ 教育方針や教育内容を適切に伝えている	A	100%	100%	100%		
			51	保護者アンケート⑮ 不審者対応や安全面について適切に指導している	A	95%	100%	100%		
			52	保護者アンケート⑧ 子どものことを気軽に相談できる	A	89%	95%	85%		
53	生徒アンケート⑮⑯ 越廼地区の行事に参加し、地区の向上に協力している	A	80%	96%	87%					
54	職員アンケート⑰ 越廼地区の行事に参加・協力している	A	100%	100%	100%					
55	家庭地域学校協議会アンケート③ 生徒は地域の行事に参加している	A	-	100%	71%					
56	実施回数 越廼地区に新聞発行ではたらきかけた（月一回発行）	A	-	100%	100%					
57	生徒アンケート⑱ 越廼PRは大事な活動なので、意欲的に取り組んでいる	A	78%	100%	90%					
協働し成長する教師	現職教育の充実	現職教育を実施し、主体的・対話的で深い学びを実践していく	58	職員アンケート⑪ 授業で、課題や問い、思考法の工夫を行った	A	100%	100%	100%	○現職教育で、生徒の実態に即した話し合い、教師の資質能力の向上、中学校区教育の推進など建設的な話し合いができていく。 ○園小中共同で、海フェスタや水仙植え付け、水仙配布等を行うことができた。 ▲中学校区や近隣中学校との相互授業参観や研究会への参加率が低かった。アナウンスを行い、参加を促していきたい。	
			59	職員アンケート⑫ 個人テーマについて組織で学び合い、実践に生かした	A	100%	100%	-		
			60	職員アンケート⑮ 行事等で、ねらいを明確にして実施する	A	100%	100%	100%		
			61	実施回数 NIE教育の現職教育を行う（年1回以上）	A	-	2回	1回		
			62	実施率 遠隔授業システムを活用した活動を行う（1回以上）	A	-	4回	1回		
			63	職員アンケート⑯ 現職教育が充実している	A	100%	100%	100%		
	64	実施回数 計画した回数の実施	A	-	29回	24回				
	園小中連携の充実	目指す子ども像の実現に向けた取り組み 交流学習や授業づくりを推進する	園小中共同で行事を実施する	65	実施率 各教科年1回以上	A	-	100%		100%
				66	職員アンケート㉔ 中学校区教育の努力事項と評価指標を意識して取り組んでいる	A	100%	100%		100%
				67	公開授業の参観率 授業を参観しあう	D	-	43%		100%
68				実施回数 交流学習を行う	A	-	1回	-		
園小中連携の充実	園小中共同で行事を実施する	園小中共同で行事を実施する	69	実施回数 水仙植え付けや水仙配付、海フェスタを園小中共同で実施する	A	-	3回	3回		
			70	実施回数 中学校区だよりを年三回発行する。	A	-	3回	3回		

アンケートの評価（「よく当てはまる」と「やや当てはまる」の合計の百分率 90%以上=A、80%以上=B、70%以上=C、70%未満=D）

